

「21世紀型コミュニケーション力の育成」研修モジュール

## C-5: バズセッション

一般財団法人 コンピュータ教育推進センター

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

これより、バズセッションのワークショップを始めます。  
この時間を担当する〇〇です。よろしくお願いします。

バズセッションは授業をはじめ、様々な場面で利用できる思考法の1つです。  
この時間を使ってバズセッションの進め方を理解し、よさを感じ取るとともに、  
具体的な活用のイメージを持っていただきたいと思います。

バズセッションとは……………

何だろう……………？

それでは、まずはじめに、「バズセッションとは何か」ということから見ていきましょう。

1948年(アメリカ)  
ヒルズデイル大学  
ドナルド・フィリップス学長が  
考案した  
話し合いの手法(思考法)

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

バズセッションは1948年(アメリカ)  
ヒルズデイル大学のドナルド・フィリップス学長という人が考案した  
話し合いの手法(思考法)です。

「バズ」とは……

巣の周りを飛ぶ蜂の羽音を  
意味する

バズセッションの「バズ」とは、巣の周りを飛ぶ蜂の羽音のことです。

# 「セッション」とは……

小グループによる集まりを  
意味する

バスセッションの「セッション」とは、小グループによる集まりのことです。

つまり……

- 小人数のグループで
- 蜂の羽音のように活発に話し合い
- 考えを出し合う

このような、話し合いの手法である。

つまり、合わせるとこのようになります。

「小人数のグループで」

「蜂の羽音のように活発に話し合い」

「考えを出し合う」

このような、考えを活発に出し合うための、話し合いの手法が「バズセッション」です。

バズセッションは別名…………

「6・6討議法」

とも呼ばれます

また、バズセッションは「6・6討議法」とも呼ばれています。

基本的には……

6人のメンバーで

6分間、話し合う

なぜなら、基本的な方法として、  
6人のメンバーで6分間、話し合いをするからです。



## バズセッション(6・6討議法)のねらい

- A 多くの人に発言をしてもらう
- B 共通のテーマをもとに意見を出し合う
- C 意見を出し合うことで、さらに新しい考えを引き出す
- D テーマに対する見解の概要(方向性)をまとめる

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

バズセッションのねらいを以下の四つにまとめました。

- A できるだけ多くの人に発言をってもらうこと
- B 共通のテーマをもとに意見を出し合うこと
- C 意見を出し合うことで、さらに新しい考えを引き出すこと
- D テーマに対する見解の概要(方向性)をまとめること

が考えられます。

では、

**バズセッションを体験しましょう**

それでは、実際にバズセッションを体験していただきます。  
体験を通じて、バズセッションの進め方を理解し、よさを感じ取るとともに、  
具体的な活用のイメージを持っていただきたいと思います。

## バズセッション(6・6討議法)のやり方

### ① 共通のテーマを用意します

本日の共通テーマ

「バズセッションの実践プラン」

バズセッションを活用できる実践場面について、より多くの意見を出し合います

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

まず、共通のテーマを用意します。

本日の研修では、共通テーマを「バズセッションの実践プラン」とします。

バズセッションを活用できると思われる実践場面について  
多くの意見を出し合ってみてください。

## ② 各自で考えを持ちます

共通テーマ「バズセッションの実践プラン」

### バズセッションのねらい

- A 多くの人に発言をしてもらう
- B 共通のテーマをもとに意見を出し合う
- C 意見を出し合うことで、さらに新しい考えを引き出す
- D テーマに対する見解の概要(方向性)をまとめる

6人で、6分間、話しあう

先ほど示しました、これらバズセッションのねらいや方法から、  
まずは個々に実践できる場面を考えてみてください。

# バズセッション(6・6討議法)のやり方

共通テーマ「バズセッションの実践プラン」

## ③ 6人を上限として グループを作ります

それでは、6人を上限としますので、今回は指定された〇人でグループを作ります

## バズセッション(6・6討議法)のやり方

共通テーマ「バズセッションの実践プラン」

### ④ 各グループごとに意見をたくさん出し合う

一人一人が多く発言できるようにし、  
出された意見の批判をしないのが留意点

グループに分かれましたら活動の手順と留意点をお話しします。

まずは、各グループごとに自由に意見をたくさん出し合います。

留意点としては一人一人が多く発言できるようにし、出された意見に対しての批判はしないのが約束です。

## バズセッション(6・6討議法)のやり方

共通テーマ「バズセッションの実践プラン」

- ⑤ 6分間の話し合い終了後  
グループの代表者により  
話し合いの概要を発表  
発表者は意見を1つに  
まとめる必要はない

そして、6分間の話し合い終了後に、  
グループの代表の方に、話し合いの概要を発表してもらいます。

発表者は意見を1つにまとめる必要はありません。

# 6分間の話し合いスタート

共通テーマ「バズセッションの実践プラン」

## バズセッションのねらい

- A 多くの人に発言をしてもらう
- B 共通のテーマをもとに意見を出し合う
- C 意見を出し合うことで、さらに新しい考えを引き出す
- D テーマに対する見解の概要(方向性)をまとめる

6人で、6分間、話しあう

それでは、先ほど示しました、これらバズセッションのねらいや方法をもとに、実践できる場面を考え、多くのアイデアを出し合いきましょう。

では、今から6分間の話し合いを始めてください。



# 話し合い 終了

では、6分が経ちました。話し合いをやめてください。

## バズセッション(6・6討議法)のやり方 共通テーマ「バズセッションの実践プラン」

### ⑥ グループごとに順番に 発表し、共通理解を図る

話し合っていたいただいたことをもとに、グループごとに順番に発表してもらい、出てきた考えについて共通理解を図りましょう。

# グループ毎に1分間で発表

それでは各グループ1分程度で発表をお願いします。

こんな時に

バズセッションは有効です

バズセッションを実際に体験してみていかがでしたか。

バズセッションの有効な場面を考えると次のようになると思います。

- ・新しいグループで  
お互いを知り合う時
- ・多様なアイデアを出し合う時
- ・考えの方向性を捉える時
- ・全体討議を活性化する時

例えば、

「新しいグループでお互いを知り合う時」

「多様なアイデアを出し合う時」

「考えの方向性を捉える時」

「全体討議を活性化する時」

こんな時にバズセッションを取り入れてみてはいかがでしょうか

子どもたちの学習場面では

6人の人数にこだわらず  
2人のペアから6人までで  
実態に応じた人数で行う  
ことが大切です

また、子どもたちの学習場面においては

6人の人数にこだわらず、2人のペアから6人までで、  
実態に応じた人数で柔軟に行うことが大切です。

全体を通して質問はありませんか。

# 製作

## CEC

### 21世紀型コミュニケーション力 の育成プロジェクト委員会

それでは、これもちまして、バズセッションのワークショップを終わりにします。

今回体験してみてバズセッションの進め方を理解し、この方法のよさを感じ取ることができましたでしょうか。

短時間ではありますが「振り返りシート」を記入しご提出ください。

話し合いの体験から得た具体的な活用のイメージをヒントに、バズセッションを学習活動や研究などで活用をしていただけると幸いです。

本日はお疲れ様でした。